

# 身近な犯罪への対処法について

地域の皆さんの防犯パトロールなどの自主防犯活動のおかげで、身近なところで発生する兵庫県内の街頭犯罪・侵入犯罪の認知件数は減少しています。(平成23年9月末現在対前年同期比 - 9.6%)

とはいえ、県内の一部の市町においては、街頭犯罪・侵入犯罪が昨年より増加しており、まだまだ予断を許さない状況にあります。

そこで、師走に入り犯罪が増えるこの時期、改めて、主な犯罪の発生状況と具体的な対処法について考えてみましょう。

## 1 自転車盗



平成23年は、次の23市町で認知件数が最も多い手口。

(神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、明石市、加古川市、高砂市、播磨町、三木市、加西市、姫路市、赤穂市、豊岡市、養父市、朝来市、香美町、新温泉町、洲本市、南あわじ市)

平成23年9月末現在県内における自転車盗の被害は、11,693件。刑法犯総数の約21%を占めています。

～ 対処法 ～

まずは鍵かけ！！

少しの時間でも鍵をかける。補助錠など活用してツーロックを。

防犯登録をする。

正規の駐輪場に止める。

駐輪場の明るさや見通しを確保する。

## 2 車上ねらい



平成23年は、次の17市町で認知件数が最も多い手口。

(猪名川町、西脇市、小野市、加東市、多可町、神河町、市川町、福崎町、相生市、たつの市、宍粟市、太子町、上郡町、佐用町、篠山市、丹波市、淡路市)

車上ねらいの被害にあうと、車が壊され、車内の貴重品が盗まれるのはもちろん、キャッシュカード、クレジットカード、運転免許証、自宅の鍵などの盗難によって、さらなる被害を受ける可能性があります。平成23年9月末現在県内における車上ねらい被害は、4,534件。

(参考：稲美町は「部品ねらい」が最も多い。)

～ 対処法 ～

確実に施錠する！（窓を閉める！）  
外から見える所にバックなどを置いたままにしない！  
車両カバーや警報機などの防犯機器を活用する。  
駐車場の明るさや見通しを確保する。  
防犯カメラや防犯灯を設置する。  
駐車場の落書きや不法投棄などがあれば改善する。



### 3 路上強盗・ひったくり

平成22年中の認知件数は、路上強盗68件、ひったくり575件。ピークであった平成14年（路上強盗146件、ひったくり4,231件）と比較すると大幅に減少しています。



しかし、平成23年9月末現在の認知件数（路上強盗61件、ひったくり525件）は、平成22年9月末現在の認知件数（路上強盗52件、ひったくり467件）と比較すると増加しています。

路上強盗、ひったくりとも、一つ間違えば大けがにつながるおそれのある手口であり、予断を許さない状況です。

～ 対処法 ～

自転車の前カゴに貴重品入れない。  
ひったくり防止ネットを活用する。  
バックは車が通らない側に持つ。  
金融機関からの帰り道は特に周囲に気を付ける。  
防犯ブザーなどを活用する。  
暗く人通りの少ない道の通行は避ける。



### 4 空き巣

平成22年の認知件数は、2,555件。ピークであった平成14年（7,138件）と比較すると大幅に減少しています。



平成23年は9月末現在県内での空き巣被害は1,700件。空き巣は、多くの場合、下見をしてあなたの地域や家のスキを見つけ、狙いを定めて犯行に及びます。常日頃から、地域をあげて、空き巣対策を講じることで、ドロボウの寄りつかない地域にすることが大切です。

～ 対処法 ～

一つのドアに二つの鍵。  
雨戸や面格子を取り付ける。  
防犯カメラ・防犯ブザー・センサーライトを取り付ける。  
鍵をかける習慣をつける。  
隣近所などの地域全体のコミュニケーションを高める。  
見かけない者、不審者（車）を見かければ、110番通報。



（データ：兵庫県警調べ）